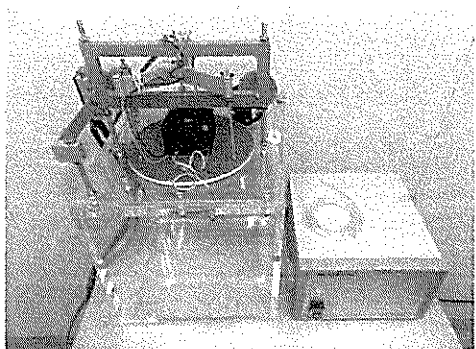


TYPE OF INDUSTRY



冷却ファン 開発支援

ツクバリカセイキ 効率計測向け装置

【水戸】ツクバリカセイキ（茨城県つくば市、中山俊明社長、029・864・8230）は、発熱した電子機器の冷却に用いる小型ファン向けの「軸動力計測システムⅡ写真」用装置を開発、8月下旬に発売する。フ

アンを回すのに使う電力と、ファンが生み出す風のエネルギー比率を計測できる。国内ファンメーカーは少ないが、電力で効率的にファンを動かせるようにするため、羽根形状などの改良を目指しており、こうした企業に装置を

提供することをファン開発を支援する。価格は200万円（消費税抜き）。年間3000万円の売り上げを見込む。パソコンやプロジ

エクスターなどに用いる電子冷却ファンのメーカー向けに売り込む。同システムは、最大風量が毎秒1立方メートル、モーターと羽根が直結したタイプのファンが対象。操作手順はまず、ファンの大きさに合わせて機器のてんびんの腕の長さを調整し、台座に取り付け、その後ファンを回し、台座にかかる力を荷重計で計測。この数値とてんびんの腕の長さをもとに、羽根の効率とモーター効率を別々に算出する。

後押ししたい考え。

日本のファンメーカーのほか、パソコンメーカーなどユーザー約30社が属する「スモールファン研究会」の事務局長をツクバリカセイキの中山俊明社長が務めており、同研究会を通じて装置の普及活動を進める。

装置を提供することで、性能の良いファンの開発をサポートし、国内ファンメーカーの国際競争力向上を目指す。

この装置は、モーターと羽根の効率を別々に算出する。これまで羽根とモーターの効率は、モーターの効率を計測する回転式のトルク計を取り

機械・ロボット・航空機